

商工会青年部「こども見守り隊」対応マニュアル

子どもたちが登下校時などに「不審者からの声かけ、あとをつけられた、車にむりやり乗せられそうになった」等の被害を受けて身の危険を感じたときの緊急避難場所として子どもを保護し、警察署に通報をお願いいたします。

1. よく見えるところにマグネットシートを貼ってください！

車両の前面もしくは側面に「こども見守り隊マグネットシート」を貼ってください！



2. 子どもが助けを求めてきたら！

①皆さん自身が落ち着いてください。

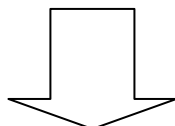
保護を求めてきた子どもは興奮しています。皆さんも動転して興奮することがないように、まず落ち着いてください。

(注1) 周囲に不審な人物がいる場合

⇒ 子どもを車両内に招き入れ、窓を閉め、ドアをロックしてください。

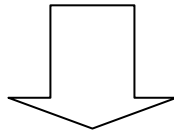
(注2) 不審な人物が車両に危害を加えそうなそぶりを見せる場合

⇒ 速やかに車両を安全な場所まで移動させてください。



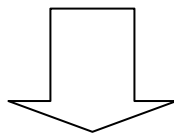
②子どもを落ち着かせてください。

「子どもと同じ目の高さになる姿勢」をとり、「大丈夫だから落ち着いて」「どうしたの？」などと優しく声をかけて、子どもを落ち着かせてください。



③警察署（110番）に通報してください。

- (1) こちらが「**商工会青年部活動:子ども見守り隊**」の者であることを告げ、簡単な状況、氏名、現在いる場所、電話番号を伝えてください。特に車両からの場合は、現在いる場所をできるだけ具体的に説明してください。(住所表示、目印となる建物等)
- (2) 110番通報を終えたら、警察署の指示に従ってください。また、警察が到着するまで、車両内等でその子どもに連れ添っていてあげてください。危険が去ったと判断して、子どもから目を離すことがないように注意してください。



＜＜子どもの状況に合わせて対応してください。＞＞

④子どもに事情を確認してください。

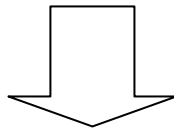
- (1) 何があったのか？
 - ・ 不審者につけられたのか、声をかけられたのか、痴漢にあったのか、暴力被害を受けそうになったのか、車にむりやり乗せられそうになった等、何があったのか聞いてください。
 - ・ 他に連れ去られたり、ケガをした子どもがいるのか等ほかの被害者の有無を聞いてください。
- (2) いつあったのか？
 - ・ 今起こったことなのか、今から何分くらい前のことなのかを聞いてください。
- (3) どこであったのか？
 - ・ 町名や目印となる建物・公園等、場所を聞いてください。

(4) 不審者（犯人）の特徴は？

- ・ 男性か女性か、年齢、人数、身長、体格、髪型、服装、使用車両（自動車・バイク・自転車の別、車体の色、ナンバー等）、凶器（ナイフ、包丁等）の有無等の特徴を聞いてください。

(5) 不審者（犯人）はどこにいるのか？逃げた方向は？

- ・ 不審者（犯人）はまだその場所にいるのか、あるいは別の場所に向かったのか、どの方向へ向かったのか等、不審者（犯人）の所在場所の参考になることについて聞いてください。



⑤警察官が来たら、子どもから聞いたことを話してください。

(1) 子どもから聞いた内容。

※子どもから聞き出した内容を順序よく

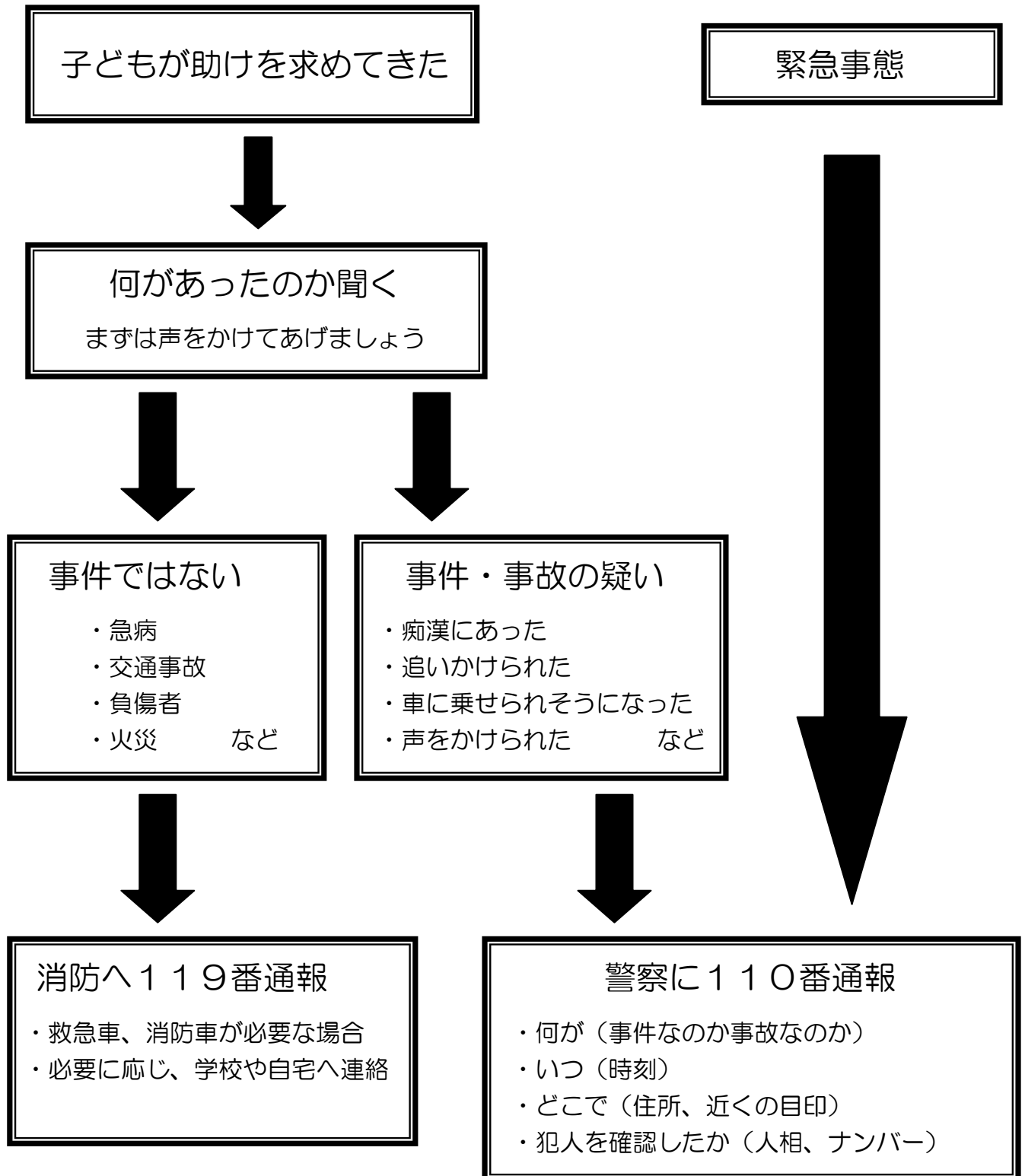
1. 何があった
2. いつ、どこで
3. 状況
4. 不審者の特徴
5. 逃げた方向 等を話してください。

※子どもが興奮していたり泣き止まなくて内容が上手く聞きとれなかった場合は、子どもの服装、駆け込んだときの状況を話してください。

<<ご注意>>

助けを求めてきた子どものことや、その内容をむやみに他人に話すと子どもを傷つけたり、プライバシーの侵害となりますので、十分にご注意ください。

商工会青年部「こども見守り隊」対応フローチャート



◎避難してきた子どもが自分で連絡できる場合は、電話を貸してあげましょう